



福岡県知事指定
特産民芸品

令和7年12月15日

観光政策課

直通：092-643-3454

内線：3692、3698

担当：永島、永津

「久留米綿入はんてん」を県知事指定特産工芸品に指定！

～福岡の冬を支える伝統工芸品。その魅力とは？～

福岡県では、県内で製造される郷土色豊かで、一定の伝統性を有する工芸品や民芸品を、県知事指定特産民芸品として指定し、伝統工芸品産業の振興に取り組んでいます。

このたび、新たに「久留米綿入はんてん」（製造地：筑後市、久留米市、三潴郡大木町）を令和7年12月19日付けで県知事指定特産工芸品に指定します。

今回の指定に伴い、県知事指定特産工芸品は合計38品目となります。

また、12月18日に知事による発表会を開催し、「久留米綿入はんてん」の歴史や特徴的な作業工程について説明を行います。

1 日時

令和7年12月18日（木） 10：40～11：10

2 場所

福岡県庁8階 特別会議室

3 出席者

（1）筑後染織協同組合

理事長 ^{みつのぶ}光延 ^{しんじ}申二（株式会社ミツノブ）

^{よしかり}吉開 ^{ひとみ}ひとみ（宮田織物株式会社）

^{みつのぶ}光延 ^{としろう}俊郎（有限会社光延織物）

事務局長 ^{なかお}中尾 ^{ひであき}英明

（2）福岡県議会（地元選出議員）

議長 藏内 勇夫

議員 原口 剣生

議員 秋田 章二

議員 江口 善明

議員 新井 富美子

議員 井上 寛



久留米綿入はんてん

4 次第

（1）知事発表

（2）筑後染織協同組合 光延理事長挨拶

（3）地元選出議員代表 藏内議長挨拶

（4）筑後染織協同組合による久留米綿入はんてんの紹介

（5）質疑応答

（6）記念撮影

★次頁に久留米綿入はんてんの特長を記載しています！！

5 久留米綿入はんてん（くるめわたいれはんてん）とは

久留米綿入はんてんは、表地と裏地の間に綿を入れたもので、木綿わた独特の保温性を持つ衣服です。デザインに沿って裁断・縫製された布地に対し、二人一組が左右から同時に作業し、生地と生地の上にむらなく綿を入れる「綿入れ」や、中綿が偏らないよう、手作業で要所を縫い付ける「とじり」の工程が特徴です。

江戸時代から、庶民の防寒着として用いられ、1947年から、筑後地域の織元において本格的な生産が始まりました。

現在では、筑後染織協同組合に属する6事業者によって、久留米綿入はんてんの製造が行われています。

6 県知事指定特産民芸品の指定要件

- ①主として日常生活の用に供されるものであること
- ②最終完成品であること
- ③製造過程の主要部分が手工業的であること
- ④伝統的技術または技法によって製造されるものであること
（原則として製造技術または技法が50年以上の歴史を有し、今日まで継続していること等）
- ⑤伝統的に使用されてきた原材料が主たる原材料として用いられ、製造されるものであること
- ⑥福岡県内で製造されるものであること
- ⑦経済産業大臣の指定を受けた伝統的工芸品でないこと

7 県知事指定特産民芸品 指定品目：計38品目（二重線部分を新たに指定）

博多曲物、博多鋏、津屋崎人形、木うそ、博多張子、福岡積層工芸ガラス、博多独楽、孫次胤、八朔の馬、英彦山がらがら、籃胎漆器、きじ車、八女手漉和紙、八女石灯ろう、掛川、赤坂人形、鍋島緞通、八女竹細工、筑後和傘、八女和ごま、杷木五月節句幟、八女矢、城島鬼瓦、久留米おきあげ、大川総桐筆笥、大川彫刻、大川組子、柳川まり、棕櫚箒、八女すだれ、博多おきあげ、天然樟脳、今宿人形、芦屋釜、小倉織、高取焼、甘木絞り、久留米綿入はんてん

【参考】筑後染織協同組合について

筑後染織協同組合は、「先染め業者」の共同染色工場として昭和45年に設立し、久留米綿入はんてんの表地・裏地の染色整理及び風合い仕上げ加工のほか、その他産業資材としての綿・合繊糸の先染めや晒、総糸の特殊染色など、多岐にわたる染色や整理加工を行っている。



筑後染織協同組合HP

★ 報道機関の皆さまへ

発表会では、久留米綿入はんてんや筑後織製品を展示します。

久留米綿入はんてんについて

1 製造工程



デザインの考案



型紙制作、延反、
型入れ、裁断



縫製



二人一組となり生地と
生地の上にむらなく綿
を入れる



中綿が偏らないよう、
手作業で要所を縫い付
ける



検品

2 久留米綿入はんてん



長袖型はんてん



半袖型はんてん



袖なしはんてん